

会 議 録	
会議の名称	平成22年度第1回清須市行政改革推進委員会
開催日時	平成22年12月3日（金） 午後2時から午後3時10分まで
開催場所	清須市役所本庁舎3階 大会議室
議題	1 開会 2 議事 （1）第2回市民満足度調査報告書（中間まとめ）について （2）その他 3 閉会
会議資料	会議次第 配席図 委員名簿 資料1 第2回市民満足度調査報告書（中間まとめ） 資料2 広報清須10月号 第2回市民満足度調査関連記事 資料3 公共施設のあり方（図書館関係）について
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍聴人の数（公開した場合）	0人
出席委員	福田委員、石垣委員、佐野委員、松岡委員、山田委員、 渡邊委員
欠席委員	太田委員、前田委員、牧野委員
出席者（市）	柴田企画部長
事務局	（企画政策課） 飯田課長、浅田主幹、山口副主幹、岡田主査
会議録署名委員	渡邊委員、石垣委員
<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>●福田会長 皆さん、こんにちは。 それでは、早速議事に入りたいと思います。 最初に会議録の署名委員を指名いたします。今回は、渡邊委員と石垣委員にお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、「第2回市民満足度調査の中間まとめ」を議題として、事務局より説明をお願いします。</p> <p>●飯田課長 〔議題1 第2回市民満足度調査報告書（中間まとめ）について説明〕 資料1 第2回市民満足度調査報告書（中間まとめ） 資料2 第2回市民満足度調査関連記事（広報清須10月号）</p>	

●福田会長

ありがとうございました。

事務局の方からご説明をいただきましたけれども、今の説明に対して、ご意見やご質問があれば伺いたいと思います。

○山田委員

今ご説明をいただいた中で、前回と今回の調査結果を重ね合わせた形で、表すことはできないのでしょうか。

●飯田課長

はい。直接重ね合わせると、数値のズレは出てきます。ただ、4つに分割した右上にあるのか、右下にあるのかといった点では、平均値を前回と今回それぞれの平均値を求めておりますので、重ね合わせて、右下の項目が減ったか増えたかといった点では、比較は可能だと思えます。

○山田委員

平均値が移動するので、平均値だけが上がって、項目ごとの正確な重要度や満足度が表せないのではないのでしょうか。

24ページ以降の表は、今回の調査結果の平均値で示してあって、前回調査結果の平均値を反映していないと思えますが、その辺はどうなんでしょうか。

●飯田課長

24ページ以降の資料は、白抜きの三角で表しておりますが、前回の調査結果と黒い四角で表している今回の調査結果を比較しております。それぞれの調査結果の数字で、上がったのか下がったのかということを示しております。

○山田委員

分かりました。それで、表の見方が分かりました。

●福田会長

他にご意見のある方は、いらっしゃいますか。

石垣委員、どうぞ。

○石垣委員

今回対象となった方は、前回と同じという方はいらっしゃるんですか。

●飯田課長

無作為抽出ではありますが、確率としてはあると思えます。

ただ、その辺が、いろいろとご指摘やお考えもあろうかと思えます。そもそも、前回と同じ人に聞かないと比較ができないのではないのか、というところなんです。聞いた方が少ないと、非常に結果が左右されると思うんですけど、今回の調査は、1,800人にも及ぶ方に回答していただいております。全体の傾向とすれば、前回と比較しても十分比較可能だと思っております。

○石垣委員

春日町と合併したことで、調査への影響はあるんですか。

●飯田課長

どうして満足なのか、どうして不満なのかという意見を整理していますが、回答者の属性ということで、お住まいの小学校区が分かるようになっております。例えば、春日小学校区の方が、他の3町に比べて子育てのところに不満があるとか、そういう傾向は分かることは分かります。分かるようにはなっているんですけど、現時点の調査内容では、小学校区ごとでの大きな差はないところです。

また、年代ごとに見ると、かなり偏った傾向となっております。例えば、ごみ処理のことですと、高齢者に行けば行くほど満足度は高く、若い主婦層では、非常に不満の比率が高い、ということが傾向として表れております。私共が考えるのは、大変恐縮ですが、高齢者の方ほどごみを出さなくて、若い主婦層の方だと小さな子どもさんがいて、ペットボトルのごみなどがたくさんあるというところです。そういった年代ごとの傾向というのは出ていますが、地区ごとでは、ご心配のような春日周辺で何か傾向が出ているか、といったことはないです。

●福田会長

石垣委員、よろしいでしょうか。

○石垣委員

はい。

●福田会長

佐野委員、どうぞ。

○佐野委員

ごみの収集について、プラスチックごみの収集が始まったことで、不燃ごみは相当減ったと思います。収集にかかる費用は、削減することができたのでしょうか。

●飯田課長

今年度の予算で重点的に実施する分野ということで、この4月からプラスチックの収集を開始いたしました。不燃ごみの収集費用の削減や収集回収の増加を目的として始めたものでございます。

不燃ごみ収集費用の削減はできたと考えておりますが、リサイクル収集の費用が発生しているために、その費用の削減といえますか差はあまりないといったところです。

○佐野委員

プラスチックごみの収集というのは、どういった理由で始められたのでしょうか。

●飯田課長

始めた理由としては、2点ございます。

一つは、不燃ごみで出していたごみを資源ごみとして再生する役割でございます。もう一つは、資源ごみ収集を行うことで、家庭にあるごみを早く搬出することが可能となって、家庭内での衛生面でも改善されたといった2つの役割がございます。

●福田会長

松岡委員、お願いします。

○松岡委員

満足度が全体的に上がった要因というのは、何かあるのでしょうか。

●飯田課長

思い当たる点は、先ほどお話をさせていただいた子育てのところであれば、例えば、医療費無料の対象年齢が上がったことが要因ではないかと考えております。

しかし、回答理由を書かれる方は、不満と回答された方が多く、満足と回答された方は、ほとんど回答理由を書かれていないのです。従って、満足と回答された方の明確な理由は、特定することが難しいと思います。

○松岡委員

私なりに、清須市の満足度は、絶対上がっているだろうと思っております。

合併で5年が経過して、いろいろなところへ目が行き届くようになってきていると思います。満足度が上がった理由というのは、市が安定してきたということでもあると思います。

●福田会長

合併して5年が経過した中で、市民の皆さんの市に対する考え方も変わってきているのでしょうかね。市が安定してきたというのは、私も同じように思うところがあります。山田委員、どうぞ。

○山田委員

4分割の右下をできる限り少なくしたい、という方向性を持っているということですよ。そうなんですけど、ある一つの事業に非常に重要度とか満足度が高い事業が出てくると、平均値が上がります。平均値が上がった場合、この表の元々変わらないものについては、左下方向へ移動します。そういった場合、右下にあったものが左側に移動します。左側に移動したことで、先ほどの重点項目からは外れることになります。

ただ単に、4分割の右下部分から外れれば、満足度が上がったという議論は、どうなのかなと思います。

●飯田課長

22ページの表ですと、重要度の今回の平均値が2.44、前回の平均値が1.82、22ページの表で1.82のところを線で引くと、左側に位置している項目が、右側に移動するというところで、これはおっしゃるとおりです。このところは、絶対評価か相対

評価かというところですが、36の相対評価で4つのエリアに分けるとどこにあるか、ということを示しております。全てについて、相対評価で絶対的な判断をしているわけではないので、ご理解をいただきたいと思います。

○山田委員

了解しました。

●福田会長

大体、ご意見も出揃ったところかと思います。

本日のまとめとして、事務局では、今回の市民の皆さんからいただいた意見について、市民の方が日頃どのように考えていらっしゃるのか整理して、今後どのようにこういった意見を施策に反映させていくのかをまとめていただきたいと思います。

それでは、以上で、本日予定されていた議事は全て終了いたしました。確認のために本日議論されたことを整理して、事務局から説明をお願いをしたいと思います。

●飯田課長

事務局から、今の市民満足度のことについて、今後の考え方も含めてお話をさせていただきます。

この調査結果を見ると、99%が右上に上昇していて、何かこれでいいのか、この数字をどう受け止めていいのかと、逆に不安になるんです。

いろいろな学識経験の先生方にもこの調査結果についてコメントをいただいております。その中で、先ほど松岡委員さんからご意見があったように、市がやっと落ち着いてきたというところがあるのではないか、とおっしゃられた先生がいらっしゃいます。

前回の調査というのは、合併してまだまだ市が落ち着いていない、市の形ができていないというのが背景にございました。今回は、合併して5年、去年は春日町さんとも合併して市の基盤と言いますか、安定してきたのでは、というご意見がありました。

今回の調査について、今後は回答理由を分析するとともに、先ほど山田委員さんからお話のあったような、表の見方や整理についてなど、最終報告に向けて今一度検討させていただきます。

これが、市民満足度調査のまとめでございます。

最後に一つご紹介で、本日、机の上に配布をさせていただきました資料3の「公共施設のあり方（図書館関係）について」をご覧くださいと思います。

これは、昨年度、公共施設のあり方というものを皆様方にもご支援いただきながらまとめました。例えば、この図書館というところだと、「既存施設を転用することも含めて、図書館の整備を進める」ということで、それが、資料の1ページ目の中ほどのところに四角書きで書いてあります。既存施設の活用も含めた図書館の整備に向けて取組みを進めるということをアンダーラインを引いて示しております。

今年度に入って、具体的な取組みに着手をしました。その方向性が1ページの下で、図書館として整備する既存施設の考え方としてあります。

まず、①として、今ある4つの図書室で広げることができる図書室はあるのですか、ということで、春日の公民館にある図書室だけは少々拡張する余地があるとしております。

もう一つ、2点目として、公共施設の改修余地等ということで、古い施設を改修しよ

うと思うと、そもそもの耐震性とかそういったところまで考慮しないといけません。まずは、最近建てた新しい建物について、具体的には、平成の年代に入ってから建物で改修余地、何か転用ができるスペースがある施設はどこかというところを調査しました。温水プールのあるアルコ清洲の2階と3階にふれあい健康ルームというところがあります。そこと、はるひ美術館の隣の施設に、はるひ保健福祉センターという2階建ての施設があります。そこは、春日町の時に1階へ社会福祉協議会などの団体が入って、2階は保健センターでした。今は、社会福祉協議会やシルバー人材センターも清須市社会福祉協議会や清須市シルバー人材センターと合併したことにより事務所も無くなっております。2階の保健センターも主に健診時の利用に限られております。そういった2つの施設がございます。

それで、裏面でございますが、今申し上げた3つのパターンを少し検討いたします。①の春日公民館ですが、ここは整備方法として、同じ階にある郷土資料室を転用しようというものです。今の図書室の面積が515㎡、拡張する面積が276㎡、合計の面積は、791㎡になります。その場合の蔵書可能冊数が、合計で101,000冊です。②のはるひ保健福祉センターに、今図書室はありませんが、総面積が2,400㎡、蔵書可能冊数は147,000冊でございます。③のアルコ清洲は、3階のふれあい健康ルームを転用する方法ですが、410㎡しかないのです。そうすると、①の春日公民館案と比べると、面積が満たないので、まずこの段階でアルコ清洲を転用する案は除外させていただきます。

それで①の案と②の案について、人口類似団体と比較をしますと、知立市さんとか豊明市さんなどがございます。床面積は、清須市の②の案である2,400㎡あれば、ほぼ人口類似団体に匹敵します。ただ、どうしても本も大変重さがありますから、蔵書冊数としては、2,400㎡あるものの、少々人口類似団体よりは少なくなります。

こうした①の案と②の案を比較したのが、一番下の整備案の比較です。①の春日公民館案について、耐震性はありますが、建設から20年ぐらい経っているので、もう間もなく大規模改修が必要となる可能性があります。現在の4図書室の蔵書は、ほぼ収容できますが、拡張余地はございません。

一方、はるひ保健福祉センターの②案ですが、平成11年の建設でございますので、老朽化は進行しておりません。それで、春日公民館を拡張する案に対して、約3倍の床面積を確保できます。そうしますと、閲覧コーナーの充実やくつろぎの空間を確保できます。

春日公民館でございますが、閲覧コーナーという、座って本を読むスペースが非常に少ない状況です。現状ですと、20席程度しかありませんので、さすがにこれではゆっくり落ち着いて本を読むことも難しいですので、そこが難点となります。でも、はるひ保健福祉センターであれば、200席以上確保することができます。あと、最大の利点は、はるひ美術館との併設で横並びになるため、文化の拠点と考えることができます。真ん中は、夢の森公園の芝生広場がありますので、市の文化振興の場所として適切な場所ではないのかなと思っております。

ですので、総合的な観点から、はるひ保健福祉センターを転用して、整備させていただきたいというふうに思います。

これは、平成23年度に予算を計上して、議会でお認めをいただいた仮定の話ですが、来年度に工事を着手して、実際の開館は再来年度の平成24年度の予定でございます。公共施設のあり方ということで、昨年度に基本方針を策定させていただきました。このように、今後も少しずつ具体的に検討してまいりたいと考えております。

●福田会長

以上をもちまして、今年度第1回の行政改革推進委員会を終了させていただきます。
本日は、お忙しいところ誠にありがとうございました。

3 閉会

(午後3時10分 閉会)

問い合わせ先	企画部企画政策課 岡田 052-400-2911 内線1221
--------	------------------------------------

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

会 長 福田 清彦

署名委員 渡邊 真弓

署名委員 石垣 勝利